【国民運動本部】 国スポ改革に向けたアプローチ

・全国知事会からの発言を契機に、有識者会議を経て、令和7年6月に（公財）日本スポーツ協会が**「国スポ改革タスクフォース（TF）」**を設置

・全国知事会もTFに委員として参画し、**財政面、人的、施設面での負担軽減の必要性を一貫して主張**

・令和8年10月に、これまでのTFの議論を踏まえ、今後の国スポ改革の方向性を示す**「中間まとめ」**がとりまとめられた

「中間まとめ」における改革の主な柱

改革	主な改革の方向性
①通年開催	競技日程を分散し、開催地の運営面での人的・インフラ負担を平準化する
②セレモニー・アワード	複数の式典を集約し、開催地の費用・人的負担を軽減する
③新たな開催地選定モデル	立候補を基本としつつ、全国各地での開催機会にも配慮した開催地選定へ転換 広域（複数県）による開催を可能とし、人的・財政的負担の分散と最適化を図る
④施設基準の弾力化	既存施設を最大限に活用し、過度な施設整備の要求を緩和 地域の実情に応じた大会運営を実現する

＜今後について＞

令和9年5～6月にかけて改革案がとりまとめられる予定であり、全国知事会として引き続き**負担軽減について主張**していく